

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 25 No 12

293号

平成29年12月17日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

MMWIN

院長

さて、皆さんはMMWIN(エムエムウィン)を聞いたことがありますか。恐らくは聞いたこともないと思います。Miyagi Medical and Welfare Information Networkの略で、「みんなのみやぎネット」と呼ばれています。

MMWINとは「良質な医療・介護が適切に提供される体制を確立し、県民の安心と信頼を確保するため」に宮城県や総務省・厚生労働省の復興補助金を活用し構築した情報ネットワークです、と説明されています。なんの事やら解らないかもしれません。簡単に言えば、患者さんの様々な情報を診療所・病院・薬局・介護施設で共有するものです。この発想は東日本大震災を教訓として生まれました。津波による被災地では医療機関が被災し、それぞれの医療機関に保管してあったカルテ(患者情報)が消失して大混乱となりました。具体的な問題として、患者さんが、どんな持病を持ち、どんな治療を受けていたのか、どんな薬を服用していたかなどの情報がなくなってしまいました。紙のカルテが流されただけでなく、電子カルテも水を被って使えなくなってしまったのです。避難所では、投薬が必要であっても自分自身でさえ薬が解らないこともありました。もちろん、お薬手帳も流されてしまったのは当然のことです。

今後も起こりうる大災害に備えて、患者情報を安全な場所に保管しておく目的で、この情報ネットワークが整備されることになったのです。ネットワークには他の意義もあります。後で述べますが、かかりつけの患者が入院した時、入院先のデータを見ることができるのです。少し唐突な質問ですが、皆さんの患者情報が誰のものか考えたことがありますか。自分のカルテを見たいと思ったことはありませんか。このネットワークを使えば、飲んでる薬剤だけでなく、自分が受けている治療や検査結果もわかる可能性があります。薬局もネットワークに参加しているので、休日診療所での処方歴やアレルギー歴なども薬剤師に把握してもらうことができます。

こう説明を受けると、良いことづくしのように聞こえるでしょう。便利が故に、逆に条件があります。自分の情報を医療機関などで見ることを許可する必要があります。情報提供を承諾をして、カード発行を受ける必要があります。もう一つ心配するのは費用かもしれません。医療機関はネットワークを利用するための費用を負担していますが、患者さんの登録は無料です。更なる心配は個人情報の流失かもしれません。情報の流出を防ぐために、強固なセキュリティで守られています。

・年末年始休暇

12月29日(金)～

1月3日(水)

ご理解とご協力をお願いします。

・栄養育児相談

20、27日(水) 13:30～

栄養士担当。無料

・お母さんクラブ・クリスマス会

21日(木) 14:00～

福沢市民センター



12月の
お知らせ

何故いきなり、今月号の記事がMMWINなのでしょう。当院ではMMWIN発足当初から参加しています。また2014年総務省からMMWIN視察があった時、導入している医療機関の代表としてプレゼンテーションをしました。そんな深い関係もあり、MMWIN通信12月号の取材を受け記事になったのです。その記事を引用して、どんな役に立つのか、さらには小児科医が求める理想像を紹介します。

「私は、25年前に「お母さんの不安・心配解消」を理念に開業し、理念に基づく様々な活動を続けています。理念を持って診療に当たるだけでなく、お母さんに安心感を与えることを心掛けています。今年の夏に、他院で乳児健診を受けたお子さんの状態を心配した祖父母の勧めで、飛び込みで診察に来られたお子さんがいました。すぐに先天性の病気が疑われ、直ちに大学病医院へ紹介入院となりました。入院すると時間がある限り、理念の実践のため入院中の母子を訪れます。目的は不安心配の解消と、症例の経過を学び、主治医と連携することです。入院してすぐに訪れましたが、事前にMMWINで情報を確認し、検査結果などを把握していました。そんな情報によって、「もう少し入院長引きそうだね。頑張ってるね！」など励ますことができました。

また、定期的にMMWINを覗いていると検査数値も回復していく傾向が見えてきました。そう思った矢先お母さんから退院の予定の電話があり、退院当日に「お陰様で退院しました。」とわざわざご報告に来てくれました。私は、そのお母さんに会ったのはたった数回だけですが、退院挨拶に来た頃にはずっと以前からの知り合いのようでした。お母さんの不安を解消し患者さんと連携するツールとしてMMWINを活用することができました。小児科では、主に急性期のお子さんを紹介するケースが圧倒的に多く、入院も3日から1週間程度ですが、このようなケースでもMMWINが活用できれば良いと思っています。

今後は、どのように運用していくかという事ですが、まずは、操作性の向上です。常にバックグラウンドでMMWINが立ち上がっており、すぐに情報が見られる事や、他施設とのコミュニケーションツールを活用して予約の取得ができたりすることができれば便利だと思います。また、医師の学習ツールとしても活用できるのではないのでしょうか？誰が利益享受者かという事を念頭に置き、患者さん(お母さん)に役立てられる診療情報や、お母さんの心配・不安解消に役立てられる情報が得られれば今後の活用に取り組んでいきたいと思っています。

この便利なネットワークも参加者が増えなければ、機能を発揮できません。我こそは利用しようと思う人は、どうぞ、窓口問い合わせてください。皆さんの応援で、MMWINを広げてきましょう。ご主人やおじいちゃんおばあちゃんにも声をかけてみてください。何と言っても費用はかからないので、よろしく願います。



読者の広場

今回の出だしは、皆さんへのお詫びからです。最近発行が遅れがちですが、今月号は遅れに遅れて月の後半になってしまいました。先生が走り回る師走ではありませんが、私の忙しさ自慢に付き合わされている FaceBook の友達は知ってるはずですが、そうは言っても、忙しさは忙しさ、新聞は新聞ということで、この場を借りてお詫びします。さてもう一つ、11月に配信した Mail News に本文が入らずに送られました。Mail News は600名を超える患者さんに登録してもらっています。配信しても戻ってくるメールもあり、どの程度読まれているのと心配していました。送信の確認をしたところ、100人近い登録者から返信をもらいました。返信には、励まし、お礼や近況報告もありました。おかげで、役立っていることも実感できました。本当にありがとうございました。せっかくの機会ですから、いただいたメールの一部を紹介します。「いつもお世話になっております。今朝、2通クリニク info が届きましたが、内容はなく、テンプレートのみでした。スクリーンショットを添付致しますのでご確認くださいませ。また、娘が体調を崩した際はよろしくお願ひ致します。」「いつも丁寧な診察をしていただき、ありがとうございます。先生に検診をしてもらった後は心を落ち着かせて息子と向き合うことができます。メールニュースですが、今朝、本文のないメールが2通届きました。今後ともよろしくお願ひ致します。」「こんにちは。いつもお世話になっております。今朝本文なしのメールが2回届きました。先生お忙しいのに大変ですね！復旧頑張ってください！！」「こんばんは。いつもお世話になってます。本文なしのメールが、8時過ぎと9時過ぎに2度きました。あらあ、先生どうしたんだろう？って思っていました。では、失礼致します。」「かわむら先生お久しぶりです。利府の丹野です。メール本文届いてます！ただ、同じ内容が午前中に2回配信されていましたが。せっかくのメールなので家の近況を（笑）子供たちは風邪一つひかず元気に過ごしています！樹己は受験生という自覚がなく（笑）マイペースに過ごしていて、親のほうが焦ってしまいます。中学を卒業したら樹己はかわむら先生も卒業かなあと今から寂しい気持ちです。高校が決まったら最後に樹己とご挨拶に行けたらなあと考えています！（決まるかな）先生もお身体に気をつけて下さいね」「お世話になっております。富谷の川田です。テストメールの件、返信が遅くなり、すみません。問題なく見れています。子供たちは、今の所、おかげさまで病気になることなく、毎日を元気に過ごしています。今年のインフルエンザの予防接種は、なかなか時間が取れなくて、会社が従業員に斡旋してくれた会社近くの病院で、一緒に受けました。ちょっとしたトラブルでしたが多くの人たちから暖かいメールをもらうことができました。皆さん、ありがとうございました。



次は先月に引き続き成人バージョンです。内科の治療でも辛い症状が取れずに、救いを求めて受診した青葉区の北村さんからのメールです。「こんばんは！夜分遅くにすみません。北村けいとの母です。この度は大変お世話になりました！！今月に入ってから続く咳で夜中に何度も起こされ、薬を飲んでいるのにな～と、とても不眠な中、けいとが受診するタイミングで、私も診てもらおうと川村先生のところへ。「大丈夫！治してあげるから！」と言われたときは、これでやっと治るな～と、ホッとしました。看護師さん達にもとても親切にしてくださる、私の診察中にはけいとの相手までしていただいていた…。内科から処方された薬を2週間飲み続けていてもダメだったのに、川村先生に診ていただいてから1週間もしないうちに、今までの咳は何だったの？！というほど良くなり私自身もビックリしています（笑）また咳が酷くなったときにどこで診てもらえばいいですか？と先生に聞いたときに、「ここに来ればいいんだよ！」と仰っていただいていた、本当に嬉しかったです！！ありがとうございました。長々となってしまいましたが、感謝の気持ちをお伝えしたくてメールさせていたいただきました。大人の病気は内科と思いがちですが、先月号のお母さんも小児科でしっかり治りました。生活習慣病や婦人科疾患はダメですが、小児科は感染症の専門家なので発熱、咳、下痢、嘔吐などは、下手な内科よりもいいかも（笑）現実に大人の喘息管理もしています。そして、費用がかかる不要な検査はしませんよ！！



「小児科医がやさしく教える 赤ちゃん・子ども病気」電子化出版

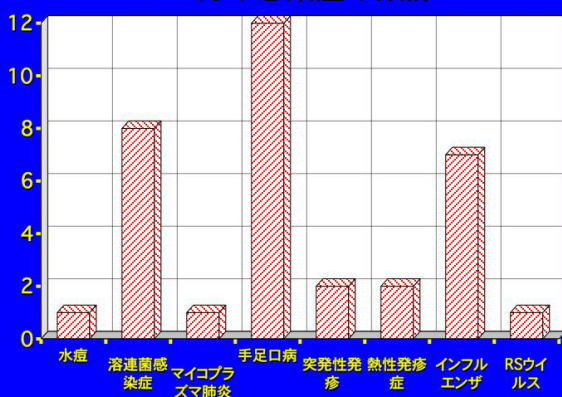
2002年刊行の著書が、2017年9月1日電子書籍となりました。

書籍版は発売2年間で8,000部を売り上げた、幻のベストセラーでした（笑）電子書籍版は、紙書籍の発刊当時の内容のまま改めて制作・刊行をが原則ですが、予防接種スケジュール、感染症に関しては一部修正してあります。

右のQRコードからPHP研究所に飛びます。本の説明だけでなく、購入も可能です。是非お買い求めください。



11月の感染症の集計



特別な流行はありませんが、溶連菌感染症が多くみられます。一度姿を消した手足口病が再び増加し、この季節に見られることは珍しいことです。11月にもかわならず、インフルエンザが見られましたが、12月に入って流行が拡大しています。詳しいインフルエンザ情報は Facebook で提供！

Mail News, Facebook の紹介

Mail News は、600人を越えるお母さんが登録。右のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

最新情報はFBを見てください。Mail News が届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



編集後記

毎月連続のお詫びです。今月号はついに遅れ発行の新記録を樹立してしまいました。新聞はクリニック「お母さんの不安・心配の解消」の理念をもとに発行しているの、遅れるのはしかたないものの（言い訳ですが）、止めるわけにはいきません。12月なのに真冬のような寒さが続いています。体調管理に注意し、良いお年をお迎えください。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』 『お母さんクラブ』 現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。！！